

更新

事業者名

国立大学法人熊本大学

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

新しい価値を創造できる人材の育成のため、学内外の教育の充実を図り、質の高い教育を提供する。また、地元自治体等との連携・協力体制を構築し、地域のニーズに応じた教育及び研究を推進することで、産業活性化の充実を図る。さらに、研究拠点大学として先端研究に磨きをかけることで17のゴール達成に貢献する。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	地域社会・国際社会の様々な課題解決に資する教育研究機能の強化	地域のグローバル化及び社会との共創を基軸とした新たな教育プログラムの設置 2023年度未実施→2026年1件以上
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	地域産業の発展に資する高度情報専門人材の育成、輩出の促進	社会へ輩出する高度情報専門人材数(年間) 2023年度101名→2026年度末に170名以上
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	SDGs推進に寄与する教育・研究の支援	SDGs推進に寄与する教育・研究支援を目的とした「くまだいSDGs推進事業」の採択件数(累計) 2023年度23件→2026年度までに50件以上

<パートナーシップ>

総合的な研究活動を、地域社会・企業・他の研究機関と密接に連携・協力して推進し、その成果を地域社会への貢献に活かす。また、高等教育機関として県内のパートナーシップをさらに進展させ、SDGsに係る意識の浸透を進める。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・若年層に対する効果的なSDGs普及促進 学生にSDGsの達成を意識して授業に臨んでもらうため、シラバスに授業科目と関連するSDGsゴールを明示した。加えて、自治体等と連携し、県内高校において地域課題解決に資する探究学習に参画し、連携講義等を行った。	地域・社会と連携して取り組む講座・科目等の実施(年間) 2020年度未実施→ 2023年1取組以上	2023年までに1取組以上を実施 ・全授業科目のうちSDGsに関連する授業科目率(SDGsゴール入力率) 72%(2023年度) ・連携講義実施数 6校(2020～2023年度まで)
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・熊本流域圏における豊かな環境再生・社会創生及び脱炭素社会の実現に向けた研究 江津湖を中心としたマイクロプラスチックの汚染調査を行い、企業と連携した企画展において「プラスチックごみ」による環境汚染や生態系への影響を広く周知した。また、カーボンニュートラルに資する取組として、球磨村において、小中学生のスクールバスに再生可能エネルギーで充電可能な電動マイクロバスを利用する実証実験を行い、電気自動車の社会実装に貢献した。	流域圏の環境再生・創生及び脱炭素に資する研究成果の創出	流域圏の環境再生・創生及び脱炭素に資する研究成果を創出できた。
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	・地域課題に対応したリカレント教育プログラムの実施 地域課題や企業課題と地域資源を結びつけ、ローカルイノベーションを創出する人材育成を目的として、各地域の自治体と共催で「地域再生人材育成塾」を開講している。	地域のニーズ把握をもとにプロジェクトを始動させ、2023年までに1取組以上を実施	2020～2023年度までに7つの自治体・地域と連携して実施。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。